

# 相鉄線の立体交差化 具体的に動き出す

相鉄線の天王町・星川・和田町近くまでの立体交差化の実現について地元の推進協議会の代表とともに、池田元久衆議院議員(保土ヶ谷区、旭区選出)は大蔵省の主計局長らに強くはたらきかけた。その結果、二〇〇一年度予算に初めて事業費が計上され、立体化事業は具体的に動き出すことになった。

この立体交差化事業は、昭和六十一年以来地元で相鉄線立体化推進協議会をつくり実現を要望していたもので、協議会の代表と池田議員は八月二十四日、事業のスピードアップをはかろうと大蔵省を訪れた。

協議会の島海和会長はじめ今井好雄副会長、遠藤博郷事務局長は池田議員の仲だちで林正和主計局長と担当の主計官に会い、立体化は地元の悲願であるとして早期着工を要望した。

また、池田議員は、神奈川県や横浜市の幹部とともに、十月二十五日には連立立憲交差事業促進全国大会、



立体化推進協議会の代表(左)と池田元久議員(右)と会話

十一月十七日には都市基盤整備事業推進大会に地元代表としてそれぞれ出席し、立体化事業の促進などをあつと押しした。

その結果、十二月二十日内示された二〇〇一年度予算の大蔵省案で相鉄線の立体交差化について初めて事業費として要通五千万円が計上され、前もって池田事務所に連絡が入った。

前年度の調査費に続いて事業費が計上されたことから、立体化に伴う側道の整備など事業は具体的に動き出すことになった。

事業が完成すると、天王町から和田町近くまでの一・八キロの区間にある九つの踏切が廃止される。その結果、慢性的な車の渋滞と踏切のイライラ持ちはなくなり、通学や通勤の便も良くなる見通しだ。

# 金融再生法をゆがめ そごうに甘い資産判定

経営がゆきづまった大手デパートそごうについて、国は一旦、そごうに対する巨額の債権を放棄することを決めたが、国民から「税金による私企業の救済だ」ときびしく批判され、結局そごうは民事再生法によって再建されることになった。これについて池田元久衆

議院議員は、八月三日の予算委員会で「そごう問題の根源は国が金融再生法の運用をゆがめて、そごうを存続可能と極めて甘い判定をしたことにある」と強調した。

一時国有化された銀行の譲渡にあたっては、銀行のもつ正常債権とともに、不良債権でも企業が存続して返済が見

込めるものは譲渡先が保有するのが適当な「適資産」と判定されることになっている。席上、池田議員は、まず金融再生委員会がつくった資産判定の基準が融通ムゲであり当局の裁量の余地が大きいと追及した。

その上で、池田議員は、再生委がそごうなど長銀の

大口融資先の大半を適資産と判定したのは、景気などへの影響を考慮したのではないかと質問した。

これに対して、相沢金融再生委員長は「おっしゃるものがなかったわけではない」と述べ、否定はしなかった。

また、池田議員は、金融再生委が長銀を外資系投資組合に売却する際、買い手側が長銀の債権について事前の調査をするのを許さず、国の判定通り一括して買うように求めたことを明らかにした。

池田議員は「買い手に対し、目をつぶって言いなりで丸ごと買ってこれと言えは国が足元を見られるのはあたりまえではないか。その結果、売り手が一方的に不利になるいわゆる瑕疵(かし)担保特約付きの契約になった」と追及した。

この質疑で国が金融再生法の厳格な運用をせずに問題を先送りしたことがその問題の根本の原因であることが明らかになった。

# 次の欧州中銀総裁 歳出削減を強調



トリシェ仏中銀総裁と会談

池田元久衆議院議員は、八月二十五日から九月二日まで予算委員会の調査団に加わって英仏伊など四ヶ国を訪れ、次の欧州中央銀行(ECB)の総裁と目されているジャン・クロード・トリシェ仏中央銀行総裁らと会談した。

トリシェ総裁は、「フランスをはじめ欧州各国は財政支出を抑制することによって国民の負担を減らすとともに、成長率を高く維持して失業率の低下をはかろうとしている」と述べ、財政支出の抑制が必要なることを強調しました。

また、イギリス大蔵省のアンドリュー・スミス閣内相は、「経済政策については消費者の信頼を得ること②現実的③国際的な協力を促進するものであることが重要だ」と述べ、イギリスとしても構造的な改革をさらに進めてゆく考えを明らかにした。

と親睦の場です。アットホームな雰囲気でお話を盛り上げてゆきたいと存じます。お気軽にご参加下さい。

**三三集会和  
ホームミーティング**

お仲間が集まり、趣味やスポーツの会、酒場での会合...何でもどこへでも駆けつけます。是非お声をかけて下さい。

市民の皆様は「買い手に対し、目をつぶって言いなりで丸ごと買ってこれと言えは国が足元を見られるのはあたりまえではないか。その結果、売り手が一方的に不利になるいわゆる瑕疵(かし)担保特約付きの契約になった」と追及した。

この質疑で国が金融再生法の厳格な運用をせずに問題を先送りしたことがその問題の根本の原因であることが明らかになった。

# 国会77情報



池田 元久氏

# 初代議長に池田氏 「結束し課題解決したい」

民主推薦の中田宏氏(含人、県内小選挙区を勝ち抜いた)。参院は選挙区で三入、先の総選挙でも次点と川崎市在住の藤野清治氏の候補者に二万五千票の大(全国比例)。池田氏は、差をつけて再選された。の計十五人の代表となる。NHK記者から政界入り

夏参院選、各百選への対応など課題は山積。国会での審議に加え、地域活動の充実などを通じた党勢拡大も急がねばならない。池田氏は「十五人の国会議員がいるということは大変な力。結束してさまざまな課題を解決したい」と目標を見据えた。

女性の皆さんの語り合い

**百合の会**

秋晴れの下 いも掘り 10月28日



池田元久議員事務所

〒二四一〇〇三三  
横浜市旭区鶴ヶ峰二二二〇  
相鉄鶴ヶ峰駅徒歩一分  
TEL(045)371-1000  
FAX(045)374-0100

国会事務所  
〒一〇〇八九八  
千代田区水戸町二二二  
衆議院第一議員会館六四三号  
TEL(03)3508-7903  
FAX(03)3508-3643



池田元久議員と関係者

秘書スタッフ  
ボランティア  
やってみませんか

運転、事務所の作業や活動、ポスター貼り、パソコンなど様々なかたちで、お力と時間を貸していただければ幸いです。

楽しく有意義な活動を一緒にできればと存じます。